

名立漁梁園工業城

『岡山県企業見学』去る11日岡山県国際交流協会様主催で約10社が当工業城見学に来られました、これは香港中国銀行様のはからいで実現した物で、現在工場建設工事中の為、細かくはご案内出来ず全体を見て頂くだけになってしまいました。今回見学においで頂いた企業の中には、具体的に進出をお考えの企業又は、近年よく耳にする中国とはどんな所か一度見てみようとお考えになりおいで頂いた企業と目的は、さまざまですがご自身の目で現状を見て頂く事により今後の経営に少しでも、ご参考になれば幸いとおもいます。

今後においても、当社はこのようなミッションは大いに受け入れますので、ご希望の企業がご座いましたら、ご遠慮なくお申し出ください。



(上:工業区説明 下:見学の様子)



清溪镇紹介

『マクドナルド清溪镇店』鎮の中心部にこの10月オープンいたしました。周辺の鎮にはすでにいくつかの店舗が運営をしていましたが、ここ清溪镇にもようやく1店舗目が開店し、何処の店舗でも見かけるのとまったく同じく大勢の人たちで連日にぎわっています。しかし、先月号でも記載した記事の中で書きました様に、日本人の立場としては少し、複雑な思いであり、近代化が進むことを純粋に喜べ無いのは私しだけでしょうか!?



ちょっと気になる事

『委託加工 人頭税(付加価値税)の事』-2 華南地区で委託加工(来料加工)で工場運営を行っている会社は必ず納めている人頭税!?!に関して当社独自(実体験)及び他社からの情報を基にした工夫を記載します。〈最初に〉

シンセン地区&東莞地区共海外からの送金に対して(加工費と見なし)例外なく人頭税対象となります。送金は必要最低限にする事です。〈1. シンセン地区〉

全従業員数100人の工場の場合本来100*700=HK\$700,000(1ヶ月の加工費)70万ドル香港ドルを送金し、HK\$196,000相当の人民元を合計で収めます。この雇用従業員数を政府機関と折衝し半分の50人で認められれば、半額で済みます。交渉次第では、初期の最低人数の30人で認められる場合もあるようです。この場合、30*700=HK\$21,000送金しHK\$5,880相当の人民元支払いとなります。したがって、対象人数取り決めの際、政府機関との折衝に各社ノウハウ(中国で蓄積した人脈等)を生かし行っているようです。

〈2. 東莞地区〉

初期の段階で、担当税関に輸入材料&輸出加工品を登録します。その際に各単価(加工単価)が決定し毎月の出荷量(通常重量)で加工費が計算されます。例えばプラスチックギヤの加工品を初期登録の際、HKD0.1/kgで加工単価決定した場合、1ヶ月の出荷重量が1000kgであれば、HKD100が加工費となりこの金額を送金し28%の金額を収めます。但し、注意事項があり初期輸出入申請の量(通常6ヶ月間)と大きく差があった場合差の追求を受け最悪差額を収める場合もまれにありますので、十分注意してください。こちら、初期の段階で決定する単価が非常に重要となりますので、シンセン地区同様各社ノウハウを生かし行っています。すでに、お分かりと思いますが人頭税の額を少しでも減らすためには、各機関&関連業務にたずさわる人及び関係が重要です。〈最後に〉本来からいけばこの送金加工費が中国工場の運営費です。(送金額*72%)少なければ、当然工場運営はできませんそこで一般的に行っているのが、不足運営費を香港(その他)から運搬し、補填しています。しかしこれも、盗難その他多くのリスクがあります。

ちょっと気になる食べ物

『一口串肉』

中国名:串焼羊肉(チャンシャウヤンロー) 羊肉を一口サイズに切り香辛料を表面に十分にふりかけ、つまようじを刺し、炭火の上に細かい網を引き焼きあげます。

羊肉独特の臭みは香辛料により消え食べると口の中に香辛料の香りが広がります。程よく辛味もあわさり、お酒の`おつまみ`に最適な食べ物ようです。この料理は、先月号に記載した物と同じく東北地方の料理で、まさしく極寒の地で、寒さをしのぐ為度数の高いお酒を飲む時に一緒に食べているようです。かなり体が温まります。

これは、東北料理店で食べる事が出来ます。



清溪の人(小姐編)



氏名:羅 金雁 (ロー ジンイエン)

生年月日: 26,AUG,1983

趣味: 旅行、カラオケ

連絡先: ?

勤務先:清溪镇内某百貨店勤務

編集部より

人頭税に関してのお問い合わせを頂きありがとうございました。今月号では具体例を上げ解説し記載いたしました。内容に関してのご意見、ご質問ありましたら是非お聞かせください。又、これ以外でもご意見、ご質問ありましたらご連絡ください。お待ちしております。